

れ以外の方は年1回の接種となり、予防接種法の特例臨時接種の位置付けが1年延長されたことより無料接種となります。町民へのワクチン接種を確実に接種できる体制を整えていきます。

母子保健について

母子保健につきましては、子育て世代へ寄り添いながら支援の充実を図るとともに、妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、各種予防接種助成事業、乳幼児等医療費助成事業を引き続き実施します。出生並びに子育てに悩むご夫婦の経済的負担を軽減するため、一般不妊治療などについて、引き続き医療費助成を行っていきます。

全国的に大きな社会問題となつていきます児童虐待につきましては、役場内関係各課及び児童相談所等の福祉関係機関、学校等の教育関係機関、警察関係機関等との連携を図り、虐待防止、早期発見に取り組んでいきます。

交通安全対策

交通安全対策につきましては、広野町安心・安全ネットワーク会議をはじめ関係機関と緊密な連携を図り、国道6号等において立哨活動を毎月

を図るため、基幹作物である主食用米の特別栽培米や有機栽培米を促進し、付加価値の高い米の生産に取り組むとともに、生産農家の収益向上と生きがいづくりを図るため、大豆、麦、野菜など町振興作物の生産に対する支援に取り組みます。

ふるさと納税制度を活用し、寄附をしていただいた納税者に、広野産特別栽培米コシヒカリや広野産米で造った日本酒、広野産無農薬バナナ「綺麗」などを返礼品として送付し、本町の基幹産業である農業の魅力や地域ブランドの情報発信を行い、特産品の販売促進や消費拡大を図り、地域経済の活性化に繋がります。町農産物の価値を伝え、販売・消費の拡大を図るため、秋には収穫祭を開催するとともに、町外で開催される様々な物産展等のイベントに積極的に参加します。

担い手農家の経営規模拡大、効率的かつ安定的な農業経営が行なえるよう、国、県、関係機関と連携を図り、町内7地区のほ場整備事業を継続して取り組みます。農業における高齢化、後継者不足、耕作放棄地等の増加などの人と

実施し、交通事故防止の呼びかけに取り組んでいきます。

学校から2キロメートル圏内において小中学生の徒歩通学が実施されていることから、交通安全専門員による児童・生徒の交通安全街頭指導を行います。



安心安全ネットワーク立哨活動

高齢者が当事者となる交通事故の減少を図るため、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施するとともに、高齢運転者によるアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故を防止するため、自動車急発進防止装置を設置する高齢者を対象に経費の一部を支援する安全運転支援装置設置事業を引き続き実施します。

防犯対策

防犯対策につきましては、地域住民が安心して生活できるよう、双葉警察署、警戒パトロール隊、防犯指導隊等関係団体と連携を図り犯罪の防止に取り組みます。犯罪に対する抑止力の向上を推進するため、住宅用防犯カメラの設置者に対し経費の一部を引き続き支援します。広野町警戒パトロール隊を組織し、町内における犯罪抑止や災害時の初期対応により、町民や町外から避難している滞在者等が安心して生活できる環境整備に取り組みます。

防災・防火対策

防災・防火対策につきましては、東日本大震災の教訓を活かし、地震による津波から地域住民の生命を守るため、関係機関と連携のもと、津波避難訓練を実施します。併せて新型コロナウィルス感染症対策に基づく避難所の設営や受付業務、避難行動要支援者の避難補助などを行い、防災体制の連携強化と住民の防災意識の高揚に取り組みます。災害発生時において、地域住民を迅速かつ確実に避難させるため、防災行政無線や緊急速報メール、役場屋上LED

『未来をつくる町』についての事業

ふくしま森林再生事業

ふくしま森林再生事業につきましては、間伐などの森林整備より森林の有する多面的機能の維持と表土の流出に伴い原発事故による放射性物質の拡散防止を図ることを目的として計画的に取り組み、折木字大田川外5地区において約56ヘクタールの整備を実施します。

町の大切な水資源確保のためには水源地周辺の森林整備が必要不可欠となることから、森林整備における作業コスト軽減による生産性の向上及び労働条件の緩和を図るため、林業専用道「狼山・叶沢線」の整備に継続して取り組みます。

森林環境譲与税の有効的な活用を図り、地域住民が森林に親しめる環境づくりと児

D防災情報システムを活用し情報を的確に伝えます。

消防団活動の環境整備を図り、消防団、婦人消防隊と連携し予防消防に取り組み、高齢者世帯においては関係機関と連携しながら火災予防啓発活動を実施します。



津波避難訓練

町内インフラ施設の維持管理及び整備

町内インフラ施設の維持管理及び整備につきましては、道路、橋梁、トンネル、下水道施設の点検を実施し、道路や下水道施設の計画的な補修による施設の長寿命化を図り、安全確保に取り組みます。道路整備につきましては、危険箇所、未改良区間の解消を計画的に実施し、町民の生

童、生徒が安全に地域の魅力を学習できる環境づくりのため、地場産材を利用して高倉山展望台及び遊歩道の整備に取り組みます。

復興関連事業

復興関連事業につきましては、東日本大震災及び原子力事故から12年が経過し、第二期復興創生期間に歩みを進めるにあたり、広野町復興計画に掲げる基本理念・目的を達成するため、復興事業のシンボルに位置付けている広野駅東側第二期開発地区の宅地造成事業、広野駅周辺整備事業を着実に取り組んでいきます。

住宅造成事業の実施においては、若者・子育て世代の定住、県外都市部等からの移住に重点を置き、土地購入の負担軽減となる補助制度の実施、子育て・教育環境の充実、就労環境や企業マッチングに力を入れ、移住後の安定的な生活を支援していきます。

広野駅周辺整備

広野駅周辺整備については、「広野駅周辺整備の基本事項に関する協定」に基づきJR東日本水戸支社と協議を進め、未来のかけ橋と広野駅構内・線橋へのエレベーターの

活環境の向上を図り、安心安全な道路網を形成し、有事の際の緊急車両の通行及び通勤時の安全確保に取り組みでいきます。

『ひとを生きし』についての事業

農業

農業につきましては、営農再開11年目となります令和5年度に営農を行う農家に対しては、国の経営所得安定対策を活用し、農業経営の安定を図ります。本町の中山間地域においては、高齢化が進む中、農業生産条件が不利な面があることから、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防ぎ、水源涵養、洪水防止、土砂崩壊防止等の多面的機能を継続的、効果的に発揮するため、多面的機能支払事業及び中山間地域等直接支払交付金事業を活用し、農用地等の地域資源の保全管理に必要な支援を行うとともに、福島県営農再開支援事業を活用し、イノシン等鳥獣被害対策に取り組みます。

土地利用型農業の収益向上

設置が完了し、スロープやホームの嵩上げなどバリアフリー化が進みました。今後、駅利用者の利便性を高めるため駅舎の改修、西口広場のロータリー化を行い、学生が安心・安全に利用できる環境、地域住民の交流の場を構築していきます。



広野駅構内エレベーター

福島イノベーション・コースト構想の推進

福島イノベーション・コースト構想の推進につきましては、福島イノベーション・コースト構想に掲げる多様な産業を集積し、福島第一原子力発電所の事故により失われた地域の生業を再生させるため、「研究開発」、「産業化」、「人材育成」、「司令塔」の4つの